

# 赤江 公民館だより

## 赤江地区民 みんなの合言葉

- 気持ちのよい あいさつを交わしましょう
- ごみを拾って きれいな町にしましょう
- 青少年の非行を防ぎましょう

赤江交流センター発行 TEL・FAX(0854)28 - 8982  
メールアドレス akae.cs@city.yasugi.shimane.jp

No.152 令和5年 12月号

### 山陰中央新報社地域開発賞

#### 砂流啓二さん

この度、上坂田で酪農経営をされている砂流啓二さんが『山陰中央新報社地域開発賞』を受賞されたことは、新聞等でご承知のことと思います。正直いって、もうすでに受賞されていたものと思っていました。これまで全く接点はありませんでしたが、3年前に、農業委員会の農地利用最適化推進委員(推進委員)の仕事をご一緒したことがありました。お話しする機会も何度かあり、農業、特に酪農に対する見識の深さに感心させられました。安来市は以前、島根のデンマーク?と呼ばれるぐらいに酪農の盛んな地域でした。その当時、酪農と園芸が我が国の成長する農業とも言われていたように思います。時代の流れの中で、乳価の低迷や輸入飼料の高騰などの要因で、多くの酪農を営まれる方が廃業され、この安来市でも酪農家が急減したことは、皆さんもご承知のことと思います。



その中で、砂流さんは、新聞記事によると、飯梨川の河川敷等を活用した粗飼料生産や営農組合と連携し飼料米の生産と酪農から生まれる牛糞たい肥の提供という循環型の農業も実践され、更には、様々な地域活動にも積極的に関わっておられます。

私のように、途中で我が家の農業経営からリタイヤした者とは雲泥の差だと思っています。

赤江地区の皆さんにも、知ってもらいたくて、砂流さんに無理にお願いし、公民館だよりで皆さんにお話させていただきました。

また、「副賞としていただいたものを、交流センターで活用してもらいたい」と、砂流さんからお志をいただきました。今、主事と相談し、何か備品を購入させていただこうと考えています。

私も毎朝、牛乳を飲むようにしていますが、地元の牛乳をこれからも飲めるような状況に今後もあってもらいたいものだと思っています。

館長



# 館長のよもやま話

早いものです。もう12月と思うのは、私だけでしょうか。本当に今年の夏は暑い日々が続きました。こんな暑い夏で、稲作はどうかと思いましたが、収穫後、品質的にどうも悪かったようです。おまけに秋には、カメムシ被害というダブルパンチとなり、稲作農家にとって散々な年となったことと思っています。

今回は、『赤江文化祭』を中心に書こうと思っていますが、まずは、交流センターに関わった事業の報告を致します。11月26日(日)、私が最も力を入れていますU・Iターンの皆さんとの交流の場づくりで『カリフォルニアロール作り』を開催しました。20年ほどハワイで寿司経営をされていた方が安来におられることを知り、このテーマで料理体験を行うこととなりました。日本の一般的な巻きずしとの違いも伺いながら、皆さん立派な巻きずしを作ることができました。ただ、我が家に帰り、この企画に参加した私の家内から「なんで参加されたU・Iターンの方を紹介しなかったのか」という、的を得た話を聞き反省させられました。

27日(月)、今年の『町民体育大会』と『赤江文化祭』の反省会を関係者で集まって行いました。『町民体育大会』は半日開催ということで企画しましたが、先日の雨で中止となりました。多くの各自治会の皆さんに大変なご迷惑をかけたことと思っています。是非、来年度は実施出来るよう、赤江スポーツ協会の皆さんが中心となり考えてくださっているようです。



『カリフォルニアロール作り』の様子

それでは、若干、記憶も薄らいできた12日(日)の『赤江地区文化祭』のことについて、お話ししたいと思います。今年は、コロナ禍前の形で実施することで出発しました。私にとっては、以前の開催状況は全くの未知であったため戸惑いもありましたが、ふたりの主事のお陰で多くの団体や個人の方に参加していただき開催することができました。前日の土曜日、皆さんのご協力で駐車場いっぱいにてントを張っていただきましたが、風対策としてのテントの重りの手配をしておらず、慌ただしく中島建設にお願いしお借りしたりと、3年間のブランクを考えさせられました。しかし、当日は、多くの方々にお越しいただき、各ブースで出店いただいたお店もほぼ完売ということで終わることができました。私事となりますが、同級生も出店してくれ、本当にうれしく思いました。小学校体育館で行いましたイベントも、観覧いただける皆さんがどれだけおられるのか心配しましたが、多数の皆さんに会場していただきました。これも感謝の限りです。今回、詩吟に併せて、書道パフォーマンス?

してもらいました。だいぶ遅くなりましたが、その時に書かれた作品を交流センターに掲示しています。この地元にも多くの巧みの技をお持ちの方がおられるものと思っています。また、中学生や高校生がたくさんボランティアとして協力してくれました。この文化祭に赤江地区から多くの方々にお越しただけということ、この交流センターにも果たすべき役割がまだまだ、あるのではないかと思います。

それと、「赤江消防団」の皆さんのには本当にご協力をいただき、またご迷惑もお掛けしてしまいました。当初、駐車場の誘導のみをお願いしたいでしたが、急遽、片付けの手伝いも依頼したにも関わらず、文句ひとつ言わず協力いただきました。振り返ってみると、小学校の花火大会でも同様に、本来の仕事ではない皆さんの安全確保のために地道に作業をこなしていただきました。感謝の限りです。少し、感情的になりました。

文化祭のことについてもっと書こうと思いましたが、当日撮った写真を掲載して、同日の皆さんの活動をお伝えしたいと思います。



12月9日(土)、I・Uターンの皆さんとの交流の場づくり第二弾で『ソーセージ&ベーコン作り』を行いました。昨年度は、自前でベーコン作りをして当日、参加者の皆さんに試食?してもらいましたが、今年は、地元、専門にベーコンやソーセージを作っている方がおられるという主事の情報でお願いしました。今は、鳥取の南部町で開業されているようですが、来年度から、この赤江で開業されるとのことです。このへんの経緯を書くと長くなりそうなので、いつかお話ししたいと思います。当日の午後、本格的なソーセージ作りとベーコン作りを行いました。作った物は、講師の方がスモークにして、クリスマス?あたりに持ちかえってもらうことになっています。当初、参加者を男性を対象に10名程度と予想していましたが、女性の方が多くの参加されました。その後、試食用に作ったベーコンとソーセージ等をいただきながら、懇親会を行いました。元々この事業は、定住財団からの助成金を得ての事業でしたので、かなり参加費を安くし実施することができました。もっと書きたいのですが、残念ながらいつかお話ししたいと思います。



大変すみません。昨年度は、12月は全戸配付ということで、これまでの主な事業のことを載せましたが、紙面が許されませんので、3月あたりに一年間の事業報告をさせていただきたいと思います。

そうそう忘れてました。7月の公民館だよりで、沖縄県で『ソフトボール全日本実年大会』に島根県代表で赤江のチームが出場される話をしましたが、この大会は台風のため、中止されましたが、この度、高知市で開催されました。運悪くベスト4となった福岡県のチームに00:3(名誉のため相手チームの点数は控えめ)という点差だったようです。しかし、参加した皆さんは点数以上に楽しんでゲームをされたとの報告を受けました。来年度は期待したいと思います。



最後に、今年、めだかクラブでの稲作体験をしましたが、かなりカメムシの被害があり、色選別をしてもらいました。そのため減収となりましたが、何とかめだかクラブの餅つきはできそうです。本当に自然相手は難しいものです。でも、皆さんのお陰で子供たちが喜ぶ姿を見れることができると思います。もう一つ最後に、12月16日(日)、『ギター&マンドリンコンサート』がありました。日頃、中々聴くことのないマンドリンの音色に癒されました。当日の様子がどじょこテレビで12月20日18時に放送されますのでご覧ください。

## お知らせ

### 1月の行事予定

- 9日(火) ちょこっと喫茶
- 14日(日) ゆずぼん&キムチ作り(12月回覧のチラシをご覧ください)
- 26日(金) すこやか講演会(健康あかえ12月号をご覧ください)

#### 年末年始の交流センター休館のお知らせ

12月29日から1月3日まで休館とさせていただきます。4日より開館しますが、通常業務は5日(金)からですので、ご理解の程よろしくお願いたします。